

令和6年度 第5回 藤沢市立鵜沼中学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2025年 2月 17(月) 9:30 から
 場 所 鵜沼中学校 3階 PC室

出席委員	渡邊 美子 (会長・鵜沼ふれあいトライアングル会長) 窪島 義浩 (副会長・鵜沼中学校校長) 和田 まや子 (青少年育成協力会委員) 浅場 秀男 (民生委員児童委員) 鈴木 茂和 (元鵜沼中学校校長) 後藤 渉 (在校生保護者・前鵜沼中学校 PTA 会長) 長谷川 友子 (在校生保護者・元鵜沼中学校 PTA 副会長) 加瀬 晶 (鵜沼中学校 教頭)	以上 8 名
次第	議題 「学校運営や子どもを取り巻く状況・課題把握・解決策について」 1. 前回第4回の議事録について (送付済み) 2. 学校評価アンケートについての意見・助言 ○学校評価アンケートについて 1. 今年度の学校教育活動についての意見・助言 2. 来年度の学校教育活動についての課題など 3. 来年度へむけて 継続について (藤沢市学校運営協議会規則第5条3) 委員の任期は2年とし、再任を妨げない 来年度第1回学校運営協議会の期日について 2025年5月8日(木)開催予定 4. 閉会 (11:40)	

1. について 前回の議事録内容の確認
2. について 学校評価アンケートについて

今年度の学校教育活動について

今年度の学校評価アンケートの結果、肯定的な評価は 80%後半から 90%台と非常に高く、概ね良好な評価を得ている。しかし、個別の相談や対応に関する項目では若干評価が低く、教職員の多忙による対応不足が課題として認識されている。情報公開、特にホームページの更新頻度向上や学校行事のオンライン配信なども要望として挙げられた。

教職員アンケートにおいては、個々の教員は授業や部活動、いじめ対応など、目の前の業務には真摯に取り組んでいるものの、学校教育目標といった根本的な部分への意識が低い傾向が見られた。これは、多忙により中長期的な目標への取り組みが後回しになっていることが原因と考えられる。来年度は、学校教育目標の達成に向けた具体的な取り組みを明確化し、教職員の意識改革を進める必要がある。

生徒アンケートの結果には大きな変動はなく、学校生活に概ね満足している様子が伺える。現状維持を図りつつ、保護者や教職員からの意見を反映させ、更なる改善に繋げることが重要である。

来年度の学校教育活動について

来年度の学校教育活動については、教職員の負担軽減、個別の対応改善、情報発信の強化、保護者との連携強化などが主な議題となった。

教職員の負担軽減については、固定担任制を維持しつつ、複数の教員が関わる機会を設けることで、個々の教員への負担を分散させる案が提案された。また、時間割の工夫など、業務効率化のための取り組みも検討されている。

情報発信については、ホームページの更新頻度向上に加え、配信アプリ「すぐーる」が導入され、有効な活用が期待される。

保護者との連携強化については、アンケート結果を踏まえ、個別の相談対応の充実、学校行事への参加促進などが課題として挙げられた。また、保護者からの意見を積極的に取り入れ、学校運営に反映させる仕組みづくりも重要である。

地域へ開かれた学校づくり、という点において保護者・教職員共に不足しているという現況を改善すべく協働していく。

3. 来年度へむけて 各委員の継続を確認、委員の増員も検討される。

以上

次年度初回開催日程 2025年 5月8日(月) 9時半～
場 所 鶴沼中学校 PC室